

# 『偕行』 本誌 投稿のお勧め

編集委員長

「最近の『偕行』は面白くなった」との評価を、読者から頂きます。記事の多様性や、読者層を意識した誌面づくりが評価されたのでしょうか。しかしその反面、「編集委・編纂委の記事が多くなったね」との指摘も受けています。

たしかに、投稿者の片寄が顕著になっています。昨年の投稿件数を調べますと、従前会員の投稿が8%、元自会員が42%、編纂・編纂委員会が34%でした。全般的に見れば、会員の投稿が減って、「読者」読む人「編集」書く人」という傾向が伺えます。

『偕行社会員規程』の「会員の権利及び義務」を見ますと、「会員は、定期刊行誌『偕行』に投稿すること」とあります。これは、「慰霊顕彰、国防研究、自衛隊関連記事を書いて『偕行』に投稿し、防衛基盤の強化拡充に資することを定めた」と考えられます。

また一方で、高齢化が確実に進行し、本冊の論考、文芸欄、花だよりの原稿が減り、内容の間違い等も散見されるようになりました。偕行会員の構成が

大きく変わり、自衛隊OB会員が半数を占める状況で、引き続きの入会促進、現役自衛官の読者層の開拓も考えねばならない情勢にあります。従って『偕行』は、「穏やかな変化」を着実に進めていく編集が必要になると思います。

当面の編集方向として、新旧双方の会員読者を意識し、誌面の充実に努力します。会員各位におかれましては、そうした点をお含みいただき、一層のご支援・投稿を頂きますようお願い申し上げます。

## ● 従前会員の皆様

平成後の新年号が取りざたされている中、昭和を振り返り、若い人たちに残しておくべき言葉や論考はないでしょうか。或いは、その生きた証を文章にしたため、英霊や同期生に届ける必要はないでしょうか。終活の一部を見直してみてください。

## ● 自衛隊OB会員の皆様

日本を取り巻く戦略環境が大きく変わりました。「統合機動防衛力」の実現・実行で、様相は大きく変わるようにも見えます。しかし国民意識は、一朝にして変わることはないようです。憲法改正も緒に就いたばかり、国民投票で過半数を得るのは至難の業。国民を啓蒙する役割は、今まで以上に重要になるでしょう。

## ● 各地偕行会の皆様

こちらも会員構成の転換期にあるのですが、旧陸軍の記録や慰霊行事を「各地偕行会シリーズ」に残してください。また表紙の裏面には、各地にある陸軍の栄光と遺跡・史料館、一方で陸自の改革状況等を紹介したいと考えています。

## ● 文芸欄の将来について

短歌、川柳、俳句、漢詩の選者は、いずれもご高齢で奉仕活動を続けておられます。伝統ある文芸教室を継続するため、元自会員による運営を考える時期にきています。自薦・推薦でのご提案をお待ちします。

## ● 表紙写真について

編集委員は「美しい日本、力強い日本、伝統の継承」をテーマに、写真を選ばせていただきます。四季折々の各地の特色ある写真をお寄せください

## 本誌投稿のご案内

### ● 記事目的と採否

防衛基盤の強化拡充に資するため、慰霊顕彰、遺族援護、安全保障の調査研究、自衛隊に対する協力等の記事を掲載します。

記事は原則として会員から投稿を募り、編集委員会で審議します。

### ● 内容と様式

多くの会員に掲載の機会を提供する

ため、次の目安を設けています。

論文、読み物は、3頁程度。

(6千文字に相当)

主張、随筆所見 2千〜4千文字。

図書紹介 1千文字程度。

短歌・俳句・川柳・漢詩

各教室の規定による。

様式 たて書き、1行17文字。

1段31行。

### ● 修文・削除等

誌面有効活用から一部の削除、小見出し付け、不適切な叙述の削除等は、編集委員会が処置します。

品位を欠く記述、史実に反する内容、叙述が理解しにくい記事は、お断りいたします。

### ● 原稿の送付

原稿・写真は、お返ししません。努めて、電子原稿をお願いします。

### ● 宛先

論文・随筆等

編集委員会のアドレス、

kaiko.henshu@quartz.ocn.ne.jp

花だより 各期の担当者。

つどい 編集委員会。

### ● 用語

数字はアラビア数字が原則。

但し、陸軍の兵器年式は「漢」数字。

● 投稿等に関するご質問は、編集委員会にお問い合わせください。

電話03-3263-0851